

令和6年

目黒区教育委員会

第2回定例会会議録

(令和6年1月16日開催)

第2回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 令和6年1月16日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会教育長	関根義孝
	教育委員会教育長職務代行者	川嶋春奈
	教育委員会委員	片山 寛
	教育委員会委員	若井田正文
	教育委員会委員	松村真理子

出席職員	教育次長	樫本達司
	教育政策課長	濱下正樹
	学校統合推進課長	西原昌典
	学校運営課長	関 真徳
	学校ICT課長	藤原康宏
	学校施設計画課長	岡 英雄
	教育指導課長	寺尾千英
	教育支援課長	山内 孝
	統括指導主事	鈴木将大
	統括指導主事	石邑由紀子
	生涯学習課長	斎藤洋介
	八雲中央図書館長	伊藤信之

書記	小見哲一
	矢吹翔太

(議事日程)

日程第 1	協議事項	令和 6 年度使用目黒区立学校特別支援学級教科用 図書の再採択について
日程第 2	報告事項	区立学校・園における学校業務（用務等）の委託 化の進め方について（案）
日程第 3	報告事項	令和 6 年度以降の児童生徒数・学級数の推計等 について
日程第 4	報告事項	令和 5 年度小・中学校卒業式祝辞について
日程第 5	報告事項	冬季休業明けの幼児・児童・生徒の状況調査に ついて
日程第 6	報告事項	教育委員会名義の使用承認状況について
日程第 7	報告事項	令和 5 年度学級閉鎖等の状況（1 月 1 5 日現在）

資料配付

- ・向原小建替NEWS 第 8 号の発行

(午前9時30分開会)

- 教育長 令和6年第2回目黒区教育委員会定例会を開会します。本日の欠席委員、欠席職員はいません。署名委員は、片山委員です。それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 令和6年度使用目黒区立学校特別支援学級教科用図書の再採択について(協議事項))

- 教育指導課長 (資料により説明)

- 教育長 ただいま教育指導課長から説明がありましたが、昨年8月22日の本委員会において決定しました特別支援学級の教科用図書のうち、油面小学校特別支援学級の教科書について、再度の採択が必要となりました。この件につきまして、委員の皆様のご意見、ご質疑がありましたらお受けしたいと思います。

この件についてご質問等がありますか。

特にないようですので、この協議を了承します。

次に、日程第2を議題とします。

(日程第2 区立学校・園における学校業務(用務等)の委託化の進め方について(案)(報告事項))

- 教育政策課長 (資料により説明)

- 教育長 この件についてご質問等がありますか。

- 委員 3点質問します。1点目は目黒区における会計年度任用職員とはどういう職員なのかということ、2点目はビル管理業務をしている3校はどこの学校かということ、3点目はこのビル管理業務についての今後の方向性を教えてください。

- 教育政策課長 1点目の会計年度任用職員制度ですが、区技能系の常勤職員に代わって退職補充とし非常勤職員化をこれまで進めてきました。ここでいう非常勤職員は、区では「専務的非常勤職員」と整理していましたが、現行の会計年度任用職員と同様に1年の雇用職員で、法令上の特別職という位置づけでした。

区では法改正に伴い令和2年度に会計年度任用職員制度が導入され、位置づけも特別職から一般職に変わりました。勤務形態は常勤ではなく非常勤で、年度内の1年に限った雇用となり、区

として更新可能年数を6年と定めています。

会計年度任用職員は、区全体で1,000人以上おりますが、用務職など学校業務に携わる会計年度任用職員は約250人で、それぞれの業務を専門的に行う職として、用務など職の必要性に応じて任用している制度です。

2点目の現在ビル管理業務を導入している学校は3校で、近年校舎の建て替えを行った碑小学校、東山小学校及び目黒中央中学校となります。

今後については、現在配置されている学校の用務職の業務と委託で行うビル管理業務とを整理・統合し、学校運営の効率化を図っていく必要があると考えています。一方、区全体では、施設維持業務の多くを委託していますが、例えば複合施設である区民センター施設について、現在建て替え検討の中で、ビル管理業務は一元化して委託していく方向性が示されていますので、区としては一定規模の施設を維持管理するうえでは、清掃や受付を含めビル管理業務委託という方向性であると認識しています。

○学校施設計画課長 今のビル管理の点について補足いたします。学校の場合、施設の規模が8,000平米を超えると、法律上、ビル管理業務を行う必要があります。碑小学校、東山小学校及び目黒中央中学校は全て8,000平米を超えており、今後建て替えを予定している向原小学校や統合中学校2校も8,000平米を超える予定です。学校運営に係る業務や用務の業務に加え、法律上必要なビル管理の業務をどのように行っていくべきか、今後検討する必要があると認識しています。

○委員 東京23区の中で既に20区が委託を導入しているということですが、このような学校の用務はどういった会社へ委託しているのでしょうか。

○教育政策課長 23区の用務職等の業務委託状況ですが、現在20区が導入している中で、その請負業者についてはビル管理としての清掃業務などを主に行う事業者が多いと認識しています。区施設も同様に清掃業務を担う事業者が多いと考えられますが、例えば総合庁舎でも施設の維持管理や清掃に加え、警備も含め委託で請け負っていますので、学校業務の委託も同様にビル管理業務請負事業者になると考えています。

ただし、学校業務のうち学童擁護の業務については、他区ではシルバー人材センターへの委託が多い状況と確認していますの

で、そのような状況も踏まえて委託事業者への請負内容について検討を進めていきます。

○教育長

その他ご質問等がありますか。

特にないようですので、この報告を受けました。

次に、日程第3を議題とします。

(日程第3

令和6年度以降の児童生徒数・学級数の推計等について(報告事項))

○学校運営課長

(資料により説明)

○教育長

この件についてご質問等がありますか。

特にないようですので、この報告を受けました。

次に、日程第4を議題とします。

(日程第4

令和5年度小・中学校卒業式祝辞について(報告事項))

○統括指導主事

(資料により説明)

○教育長

卒業式祝辞に関する報告ですが、今回で3回目です。昨年中に、祝辞の題材として、小学校は「ジョン万次郎」、中学校は「対話型生成AI技術の開発」ということに決定していますので、本日は文案についてご意見をいただきたいと思います。

これまでと同様に、各委員の皆さんから順番にご意見を伺う形でよろしいでしょうか。

小学校と中学校の文案について併せてご意見をいただければと思います。

○委員

まず小学校の文案についてですが、全体の長さが少し長いと感じました。昨年、初めて卒業式でお祝いの言葉を読みましたが、昨年度も少し長いと感じていました。今回は昨年よりも170字程度増えていますので文字数を改めて検討いただきたいと思います。

次に、中学校の文案についてです。⑦の段落に「到底受け入れられないものや、想像したことがない新しいものと出会い、共存していくことに」という文言があります。この「到底受け入れられないもの」という表現が気になりました。

○委員

小学校の文案についてですが、全体の流れは現在の案で結構かと思います。ただし、卒業する6年生は既に「ジョン万次郎」

の劇を鑑賞しているので、⑤段落の最後の文章の「紹介します」の表現を「改めて紹介します」に修正することや、説明の内容自体をもう少し省略することを検討してもよいかと思いました。

次に中学校の文案についてですが、⑥段落にある「一つの道具として」の次の「巧みに操っていく」という文言について、ここは例えば「適切に利用する」といった、もう少しニュートラルな表現の方が良いと思いました。また、「巧みに操っていくために、人間ならではの繊細な感性、確かな知性を働かせていく」という文言が何を意味しているのか分かりづらいため、この表現を工夫した方がよいと思いました。

○委員

小学校の文案については、文章が短くなるのであれば、その方が良いと思います。劇を鑑賞した人たちにとっては、耳で聞きながら映像として想像できるため、題材として本当によかったと思います。また、現在の案文を少し省略しても十分に想像が膨らむと思います。

また、文章を目で追わずに聞いていたのですが、「立派な船乗りとなったジョン万次郎は、捕鯨船で世界の海を」という部分が、耳で聞いていると「ゲーセン」と聞こえてしまったので、子供たちの間であまり馴染みのない「捕鯨船」という言葉をすぐに理解できるかが気になりました。

次に、中学校の文案についても、文字を目で追わずに聞いていたのですが、こちらは聞きやすいと思いました。一方で、「これまで培ってきた人間力を更に磨き、人類と新しい技術との調和を図り続けていく」という一文について、「人間力」を磨くことが一番伝えたい事柄だと理解していたため、文章が「人類と新しい技術との調和」へつながることに違和感がありました。

○委員

小学校の文案についてですが、確かに文章が少し長いと思いました。また、ジョン万次郎が活躍した要因の一つに、多様性を認めたことがあると思います。現代は多様性が非常に重要視されている時代ですので、そのような言葉を入れてみても良いと思いました。

中学校の文案についてですが、こちらは非常によく書けていると思います。ただし、「到底受け入れられないもの」という文言は省き、「想像したことがない新しいものと出会い」のみで良いと思います。

○教育長

4人の委員の方に順番にご意見いただきましたが、ほかにつ

け加えたいご意見等はございますか。

各委員のご意見をまとめますと、まずは文章をより短くすること、次に、全体の流れについてはこの方向で良しとするも、一つ一つの言葉の選び方についてはまだ検討の余地があること、そのようなご指摘だったと思います。

ちなみに、今回の文案のように、小学校の文字数が中学校よりも多い事例は過去にありましたか。

○統括指導主事 これまでに、小学校のほうが多い年もありましたが、例年は、小学校のほうが多く、中学校のほうが多いという状況です。

○教育長 各委員から、それぞれ貴重なご意見、ご指摘がありましたので、それを基に、次回再度文案の報告をお願いしたいと思います。
次に、日程第5を議題とします。

(日程第5 冬季休業明けの幼児・児童・生徒の状況調査について(報告事項))

○統括指導主事 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等がありますか。

○委員 小学校の欠席児童のうち、家庭事情を欠席理由とする方が424人おり、多いと感じています。中学校と比較しても多いですが、コロナ禍以前の数値との比較がありましたら、教えてください。

また、能登地震による影響を受けた児童生徒について何か報告があればそれについても教えてください。

○統括指導主事 1点目の家庭事情による欠席者についてですが、コロナ禍以前の家庭事情による欠席者数についてまとめた数字が手元にならないため、後ほどお答えいたします。2点目の能登地震による影響についてですが、今のところ報告はありません。

○教育長 その他ご質問等がありますか。
特にないようですので、この報告を受けました。
次に、日程第6を議題とします。

(日程第6 教育委員会名義の使用承認状況について(報告事項))

○生涯学習課長 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等がありますか。

特にないようですので、この報告を受けました。
次に、日程第7を議題とします。

(日程第7 令和5年度学級閉鎖等の状況(1月15日現在)(報告事項))

- 学校運営課長 (資料により説明)
○教育長 この件についてご質問等がありますか。
特にないようですので、この報告を受けました。

資料配付
・向原小建替NEWS第8号の発行

- 教育長 その他なにかありますか。
特にないようですので、以上で本日の定例会を閉会します。

(午前10時32分閉会)